



平成20年11月30日
第75号
発行所 飯田恭次
〒3700-3657
TEL. 3700-3657

エコって何ですか

寺岡昌 池田良夫

世田谷区も十月一日から新しいゴミ処理場の稼働により、資源ゴミの分別のルールが変わりました。

最近、ある人から「エコって言葉は日本語で何ですか?」と聞かれ、答えるに詰まっていた。辞書によると、エコロジーは環境又は環境学と表記されています。

これが何故「エコ」しているのか?の資源再生になるのか、そこが良くなるからなのです。

人間の住む地球で今、自分達の手で自然が破壊され保てなくなっているのです。原因は資源の浪費であり、自然環境の破壊消滅に有るならば、限られた資源をより有効により永く人類の為に保全する事にエコ活動の意義があるのです。

アルミの再生だけとて、みても消費電力は1.30で済むそうです。紙パルプだって広大な森林が毎年無くなつて砂漠化しています。
『モックタイナイ』の精神で、エコに協力しましょう。

(寺岡昌副会長)

防ごう振り込め詐欺

豊田 明

今年に入り振り込め詐欺の被害が急増している。

犯罪の主な手口は、おれおれ詐欺、架空請求、融資保証金、還付金詐欺等、全国で被害は減少傾向であったが、今年十月〜七月は約1万3800件約193億円で、前年同期比約1.5倍、これまでの最悪だった04年とほぼ同じペースである。

2割以上が東京都に集中し、内、玉川署管内9月現在52件、約1億400万円で、特に高齢者の多くが被害に遭っている。

自分は大丈夫と考える心理と、家族を助けたいという情を巧みに突いた犯罪であり、区民と行政が協力し防ごう。

秋深まる

私の健康法

柳田 飯塚みよ子

私が瀬田のまちで小さなブティックを開いたのは、田園都市線の地下鉄工事が始まった頃でした。

子供からおばあちゃんまで来て頂ける様な店作りで心掛けて来ました。親に叱られ泣きじゃくりながら飛びこんで来た子も今では立派なママ。久しぶりに会った人々から「いつもお若いですね」とおだてられ、その気になって笑顔で元気を振り撒いている私です。

お客様と一緒に、楽しい事、苦しい事などを話し、励まし合いながら過ごしてきた温いぬれ合いこそが、私の健康の秘訣です。

(ブティックペゾ 店主)

秋に想うこと

豊田 海老沢祐子

今年も父の実家から新米が届きおいしく頂いています。茨城県坂東市は、私の第二のふるさとです。

私が小学生の頃大田区鶴の木に住んでいて昭和二十一年に鶴木に引っ越し、父の実家に疎開したのです。

高校を卒業して上京するまでの九年間、楽しかった時も淋しかった時もあり、あの美しい筑波山が、私を見守ってくれていました。友達と登ったのを今なつかしく思い出します。

これから紅葉が始まる頃に、つくばエキスポレスに乗って久しぶりにゆっくりと登ってみたいと思います。



孫は無事に育って

千野昭江

私の孫の二三の子は持病に気管支炎がある。

高熱と咳、青い顔で食物は全て吐く。こんな時、私はどうしてあげる事も出来ない。せめてもう少し良い環境だったらと……。

此の度、プラスチックは勿論、殆どの物が燃えるゴミとして炒に入る。世の理工学者達は口を揃えて「燃やして嵩が減る」というのは物理学の法則では間違いない。

ガス化して見えなくとも無くなった訳ではなく、CO₂という別の形で残るのです。と。生物が生きていく為の空気、水、土壌が汚染され人体への影響が心配と警鐘を鳴らしている。

木洩れ日

飯田恭次

枯葉が舞う季節になりました。世田谷区のシンボルの木は榉(けやき)……。夏には枝いっばいに葉を繁らせ木陰に涼風を送る。冬になると、その葉をすっかり落し弱い太陽の光を皆に分かち合う姿に変わる。何か私たちに自然の摂理を教えてくれる様に思います。

西の空に沈む夕日が美しい。空気が澄んできた為か丹沢山塊に富士山や大山が良く見えます。かつて、私たちの町には大山詣での主要な道、大山道が通っていました。今は厚木街道、又は国道二四六号と姿を変えています。

今年、用賀や二子玉川の大山道沿いの商店街の皆さんが大山阿夫利神社のある伊勢原市の方々と交流を深め、色々なイベントを企画実施いたしました。大好評だった様です。今後の活動が期待されます。

そして、二子玉川の新しい街づくりが始まりました。民間の再開発としては都内最大の規模との事。明治から大正時代、多摩川を渡り舟で通っていた頃は遠い昔話になりました。

目を外に転ずると、ニューヨーク市場を震源とする金融危機。政治、経済両面に亘り国際社会は大きな変動期を迎えたと云えるのでしょうか。



郷土紹介

時代とともに
変わるまちニ子玉川地区

ニ子玉川 会長 池田良夫
郷土史会
変わりゆくまちの顔もシリース三回目、ニ子玉川をとりあげる。

東京の西の玄関として、あまりにも発展、変貌している元々の顔をイメージする事も困難である。

元々、瀬田村の一部として本大な田圃と桃林の広がる多摩川の河岸の原野は、六郷用水の治水と大山街道の「ニ子の渡し」で成り立っていた。

大きな変化は、玉電の開通であらう。農村へ電灯という文明を持ち込んだだけでなく、電車の利用客の誘致の目的で、次々と新しい

施設が出来て行くのである。

第一遊園地跡は身延山開東別院玉川寺、第二遊園地は説書遊園地やニ子玉川園を経て現在再開発の最中である。明大アールや落下傘塔の面影はもうない。日本最古の子供タレント養成所川上児童劇団があったことは忘却のかなたへ消えた。

現在の河岸のマシヨンプはかつて料亭や船宿が十数軒あり観光のメッカであった。玉川商店屋SCの裏はかつての三葉地として三味線と茶客の花柳界の賑わいのあった地で現在の飲食街だ。

路線の中耕地区に住宅公園の団地が出来て東急電鉄が分譲地を開発して、新開地がニ子玉川小学校の西に発展し、現在も西へ西へと伸びている。



もつつの故郷

前住子 齋藤金男

私が生まれ育ったのは日本橋で、三歳の時関東大震災に遭い、祖父母の故郷新発田へ一時疎開しました。その頃の記憶はありませんが、その後、学生時代屢々出向いた新発田が私にとりもう一つの故郷。

幕末の新発田藩は、明治時代軍部として栄え、今は自衛隊の駐屯地です。東方に磐梯朝日国立公園、西方は日本海に沿い松の防風林が残り、広大な稲田を加治川、阿賀野川が流れ、県内有数のコシヒカリの産地、農産物の集散商業都市。醸造、食品、電器等の工業もあり、一九四二年の市制施行後、周辺町村を編入、人口十万人の田

わが故郷

園都市です。

新発田出身の著名人!!

新発田藩士中山次衛門を父に舅菅野六左衛門が高田の馬場での机討に助人の中山安兵衛。後に赤穂浪士家臣堀部弥兵衛の養子となり、大石良雄等と吉良邸討入りを果たした堀部安兵衛。大倉財閥創始者大倉喜八郎は新発田藩士出身。若くして江戸に出て、銃砲店を営み、御用商人として成功。日清日露戦争で財を成し、大倉組商會、帝國ホテル、帝國劇場、大日本ビル、東京電灯等の他、大倉商業学校(現東京経済大)、大倉集古館等を創立した。元日本製鉄社長元日経連会長齋藤英四郎も新発田の出身です。



スポンサー

玉川清掃事務所より

十月からごみの分け方が変わりました。ご協力により順調に推移していますが、みなさんからお問合せの多いものを紹介します。

「収集日の数え方」不燃ごみやペットボトルの収集日は、その月の何回目の曜日で数えます。第何週ではないのでご注意ください。

「可燃ごみ」レトルト食品の袋や発泡スチロールなどのプラスチック製品、ゴム、皮製品は可燃ごみです。「ペットボトル」キャップは必ずはずしてください。ラベルはついたままでも構いません。

みなさんの工夫で、一層のごみの減量をお願いします。



地球温暖化のせいか天候不順がどうも気になる。この夏、各地での最高気温の記録更新、台風が一度も上陸しなかった等々...お陰様で今年は野菜や果物が豊作で、味良し価格良しとか。

だが、「マナー台風」が暴れ廻って経済の面で大変心配ですね。

秋はいろいろと物想いにふける季節。今回は家族の事、地域の事、故郷の事など綴っていたいただきました。皆様にも沢山の想いがあろうかと思えます。

あと一ヶ月で新しい年を迎えます。さて来年はどんな年にしたいですか?...

(鈴木 肇)



資源活用

古着・古布の回収を行いました
事務局長 10月25日(土)京セラ東京用資出張所の駐車場において、用資地区ごみ減量・リサイクル推進委員会と身近なまちづくり推進協議会環境安全部主催の「古着・古布回収」を行いました。

当日は朝9時から受付を開始。何回かに分けて持って来てくださる方、大きな風呂敷を背負って歩いて来ていただいた方、車の後部座席やトランクに詰めて持ち込んでいただいた方々、なかにはわざわざタクシーに乗って持って来てくださった方もおり、地区の皆さんのリサイクル意識の高さを感じました。

回収された古着・古布はリサイクル事業者を通じて古着は汚れや破れ等がないものは衣類として再利用(海外にも輸出)され、それ以外は裁断してウェス(工業用雑布)に利用されたり、繊維に反してカーペットなどに加工されます。

各家庭で使わなくなった古着・古布類を今後も資源として活用し、ごみを減らし、リサイクルを推進いたします。

なお、次回は来春頃を予定し、区のおしらせや町会の回覧等でお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。